

平成 1 4 年度 第 3 回  
受注登録企業動向調査結果報告書

(平成 14 年 12 月末現在)

財団法人 京都産業 2 1

## 1. 調査概要

### (1) 調査目的

受注登録企業の受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

### (2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300企業

業種別内訳（産業分類 中分類）

鉄鋼・非鉄関係	30企業	金属製品関係	45企業
一般機器関係	45企業	電気機器関係	45企業
輸送用機器関係	30企業	精密機器関係	30企業
縫製関係	45企業	樹脂製品関係	30企業

### (3) 調査時点

平成14年12月31日現在

（前回調査時点 平成14年9月30日）

### (4) 調査方法

調査票（別紙様式）の郵送によるアンケート方式

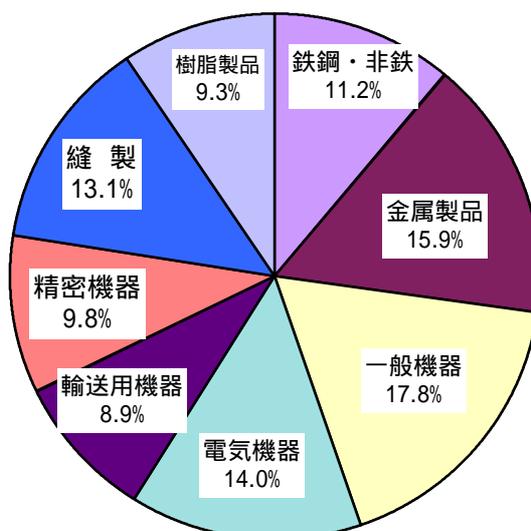
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）

### (5) 回収状況

調査対象企業数	300企業		
回収企業	214企業		
内訳	鉄鋼・非鉄関係	24企業	( 11.3%)
	金属製品関係	34企業	( 15.9%)
	一般機器関係	38企業	( 17.8%)
	電気機器関係	30企業	( 14.0%)
	輸送用機器関係	19企業	( 8.9%)
	精密機器関係	21企業	( 9.8%)
	縫製関係	28企業	( 13.1%)
	樹脂製品関係	20企業	( 9.3%)
回収率	71.3%		

## 2. 回答企業の概要

### (1) 業種別回答企業の内訳



### (2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	縫製	樹脂製品
個人	22 10.3%	2 8.3%	0 0.0%	1 2.6%	4 13.3%	1 5.3%	1 4.8%	11 39.3%	2 10.0%
～300万円	21 9.8%	3 12.5%	1 2.9%	2 5.3%	3 10.0%	1 5.3%	3 14.3%	6 21.4%	2 10.0%
301～999万円	15 7.0%	1 4.2%	3 8.8%	2 5.3%	1 3.3%	2 10.5%	1 4.8%	2 7.1%	3 15.0%
1,000～2,000万円	121 56.5%	9 37.5%	26 76.5%	25 65.8%	20 66.7%	14 73.7%	10 47.6%	9 32.1%	8 40.0%
2,001～5,000万円	28 13.1%	6 25.0%	4 11.8%	8 21.1%	1 3.3%	1 5.3%	4 19.0%	0 0.0%	4 20.0%
5,000万円超	7 3.3%	3 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.3%	0 0.0%	2 9.5%	0 0.0%	1 5.0%
合計	214 100%	24 100%	34 100%	38 100%	30 100%	19 100%	21 100%	28 100%	20 100%

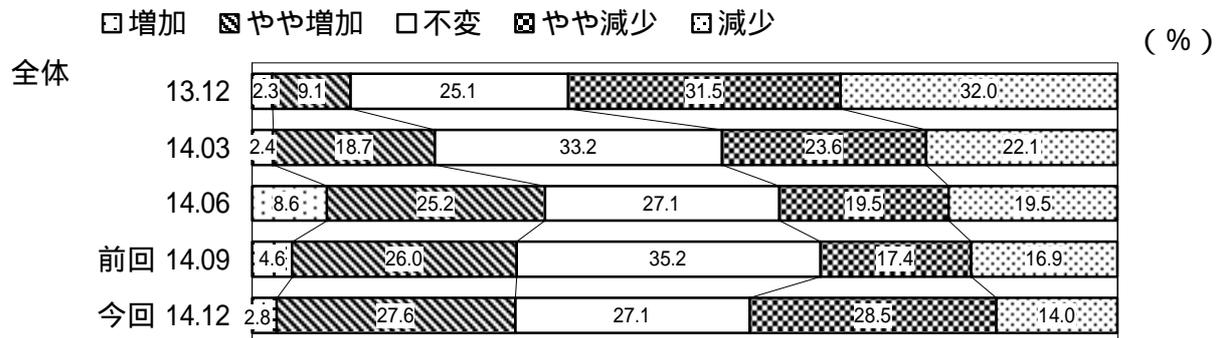
### (3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

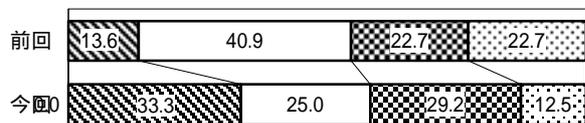
	全体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	縫製	樹脂製品
1～5人	38 17.8%	3 12.5%	2 5.9%	3 7.9%	6 20.0%	4 21.1%	3 14.3%	11 39.3%	6 30.0%
6～10人	49 22.9%	8 33.3%	9 26.5%	14 36.8%	2 6.7%	3 15.8%	1 4.8%	8 28.6%	4 20.0%
11～20人	43 20.1%	2 8.3%	12 35.3%	6 15.8%	5 16.7%	3 15.8%	6 28.6%	6 21.4%	3 15.0%
21～30人	35 16.4%	5 20.8%	5 14.7%	9 23.7%	9 30.0%	2 10.5%	2 9.5%	1 3.6%	2 10.0%
31～50人	27 12.6%	1 4.2%	5 14.7%	4 10.5%	3 10.0%	5 26.3%	4 19.0%	2 7.1%	3 15.0%
51人以上	22 10.3%	5 20.8%	1 2.9%	2 5.3%	5 16.7%	2 10.5%	5 23.8%	0 0.0%	2 10.0%
合計	214 100%	24 100%	34 100%	38 100%	30 100%	19 100%	21 100%	28 100%	20 100%

### 3. 調査結果

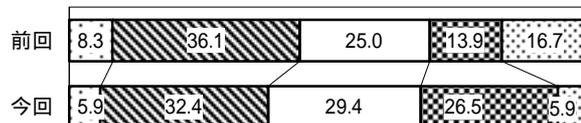
#### (1) 受注量について



#### 鉄鋼・非鉄



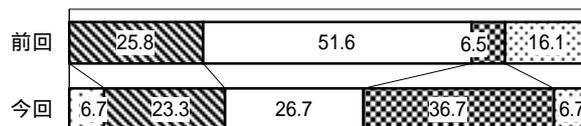
#### 金属製品



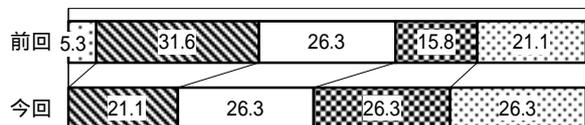
#### 一般機器



#### 電気機器



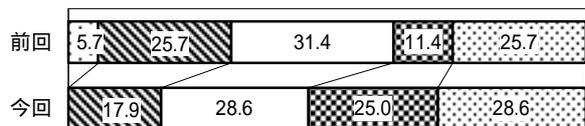
#### 輸送用機器



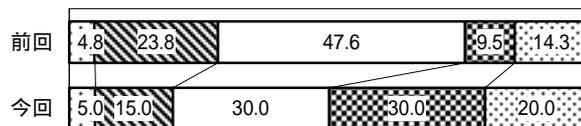
#### 精密機器



#### 縫製



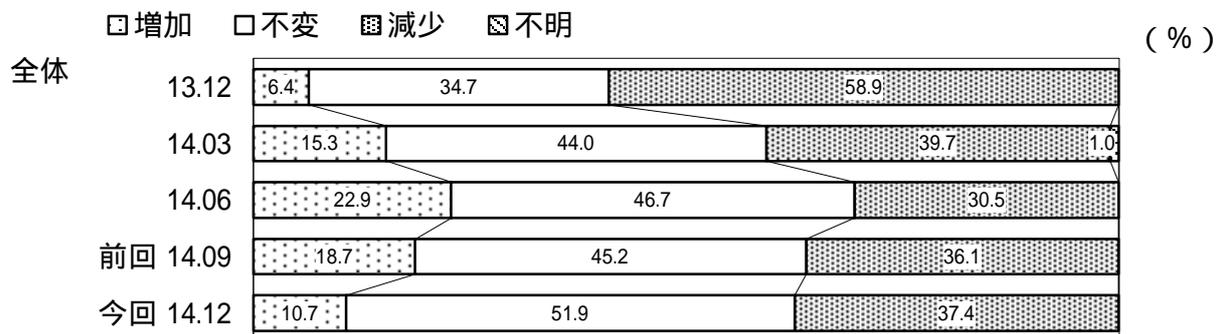
#### 樹脂製品



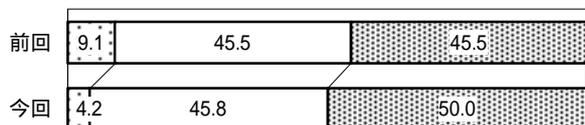
・全体では、「増えた」（増加又はやや増加）とする企業が30.4%で前回調査と比べて0.2ポイント減少し、「減った」（減少又はやや減少）とする企業は42.5%で、前回調査と比べて8.2ポイント増加している。「減った」とする企業が「増えた」とする企業を上回っており、前回調査以降、頭打ち傾向となっている。

・業種別に見ると、今回調査で、金属製品、一般機器を除き「減った」とする企業が「増えた」とする企業を上回っており、前回調査と比べて電気機器、樹脂製品は「減った」とする割合が大幅に増えている。

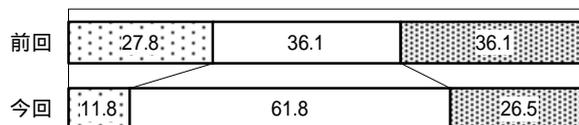
(2) 受注量の見通しについて



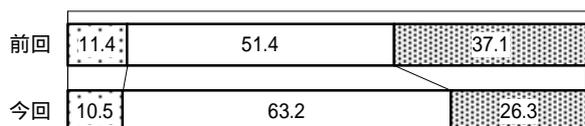
鉄鋼・非鉄



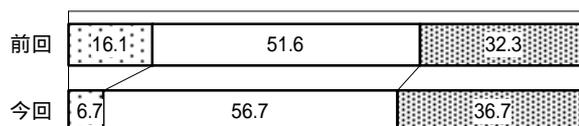
金属製品



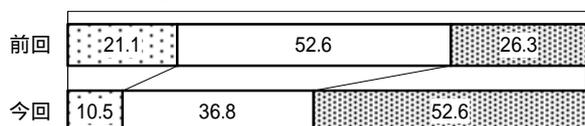
一般機器



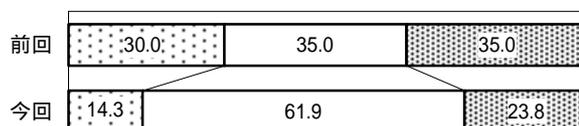
電気機器



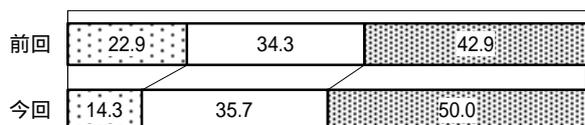
輸送用機器



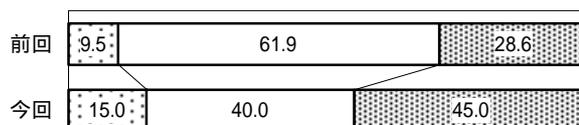
精密機器



縫製



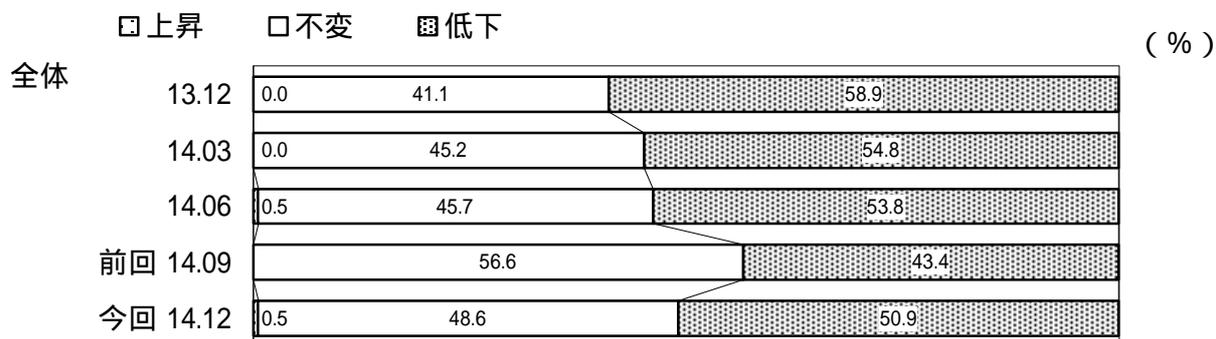
樹脂製品



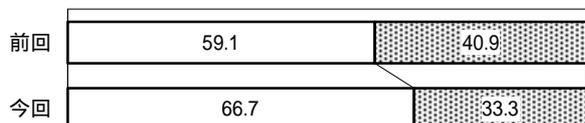
・全体では、「増加」とする企業が10.7%で前回調査と比べて8.7ポイント減少し、「減少」とする企業が37.4%で前回と比較して1.3ポイント増加している。「不変」が5割を上回っており、さらに厳しい見通しとなっている。

・業種別に見ると、全業種で「減少」とする企業が「増加」とする企業を上回っており、とりわけ、鉄鋼・非鉄、輸送機器、縫製では5割以上が「減少」としており、厳しい見通しとなっているが、樹脂製品では、前回調査と比べて、「増加」の見通しが増えている一方で、「減少」も増えており、二極化が進んでいる。

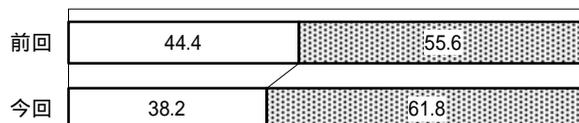
(3) 受注単価について



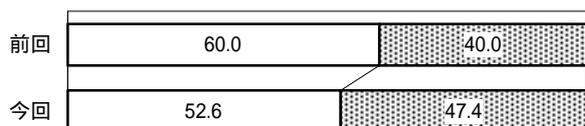
鉄鋼・非鉄



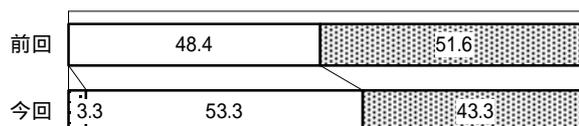
金属製品



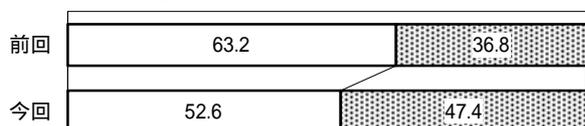
一般機器



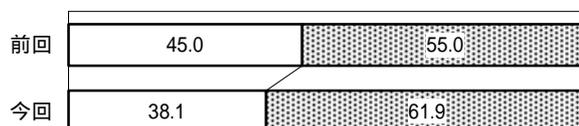
電気機器



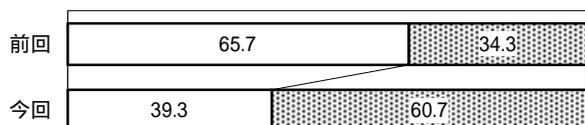
輸送用機器



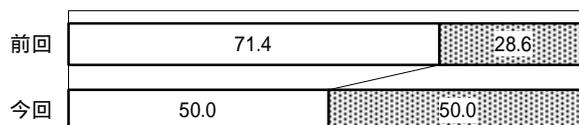
精密機器



縫製



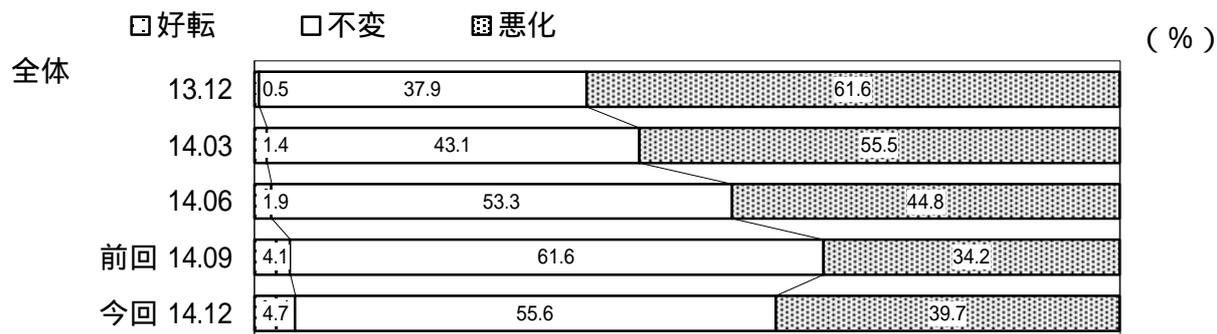
樹脂製品



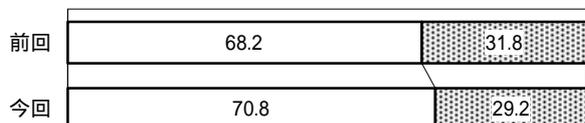
・全体では、0.5%と僅かながら「上昇」が見られるものの、「低下」とする企業が5割以上を占め、「不変」も5割近くあり、依然として厳しい状況が続いている。

・業種別に見ると、電気機器に「上昇」が3.3%見られるものの、各業種とも低下傾向にある。

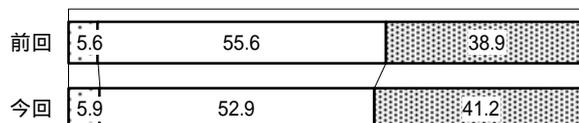
(4) 資金繰りについて



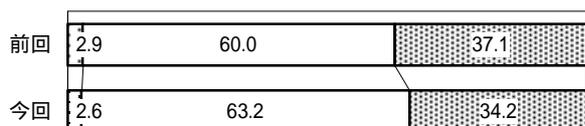
鉄鋼・非鉄



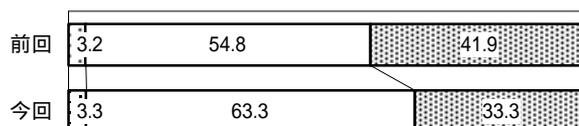
金属製品



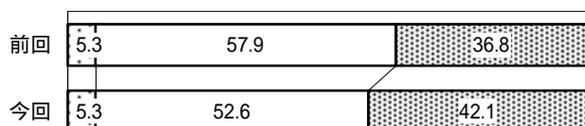
一般機器



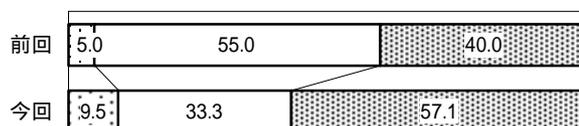
電気機器



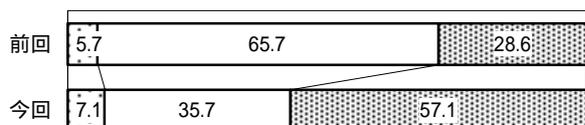
輸送用機器



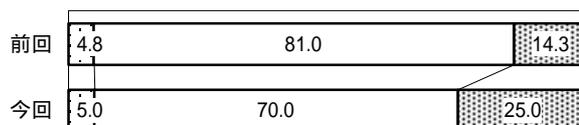
精密機器



縫製



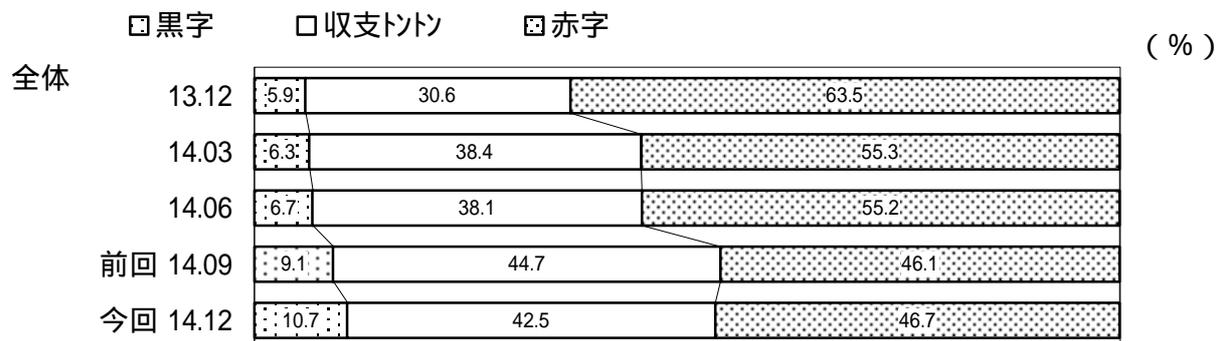
樹脂製品



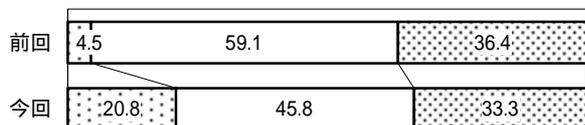
・全体では、「好転」とする企業は4.7%、「悪化」とする企業が39.7%で、「悪化」が「好転」を大幅に上回っている。前回調査と比べると「好転」が0.6ポイント増加しているものの、「悪化」も5.5ポイント増加しており、厳しい資金繰りを強いられている。

・業種別に見ると、金属製品、電気機器、精密機器、縫製、樹脂製品で前回調査と比べて「好転」とする企業が、わずかに増加しているものの、精密機器、縫製で、「悪化」とする企業が大幅に増加しており、非常に厳しい状況である。

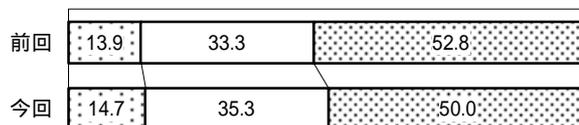
(5) 採算状況について



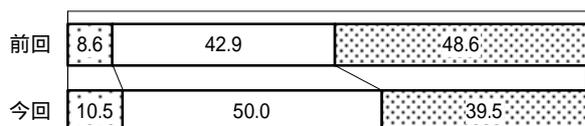
鉄鋼・非鉄



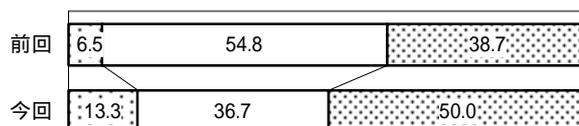
金属製品



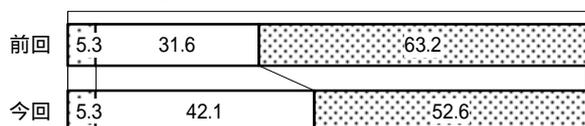
一般機器



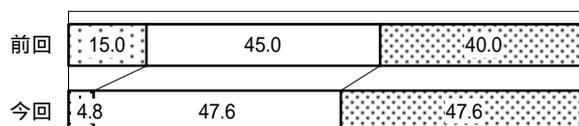
電気機器



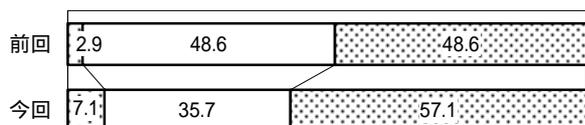
輸送用機器



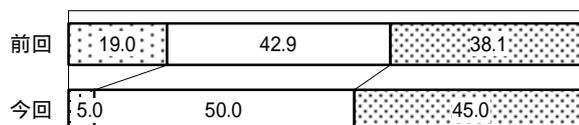
精密機器



縫製

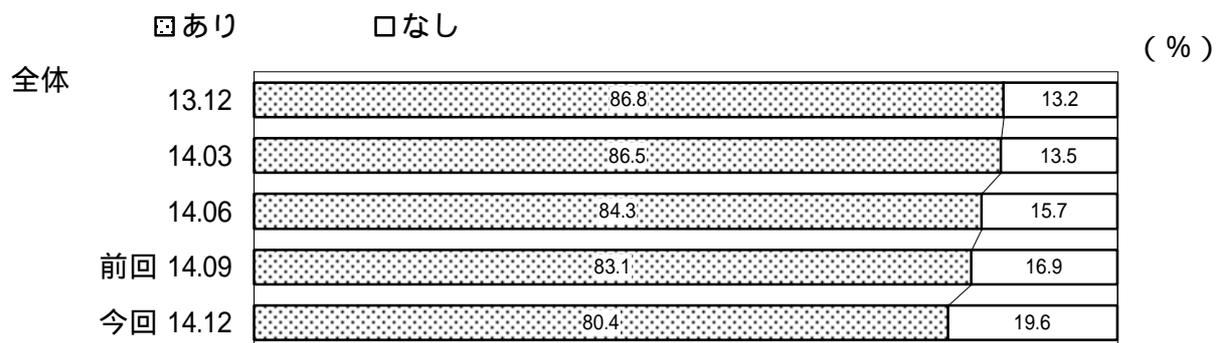


樹脂製品

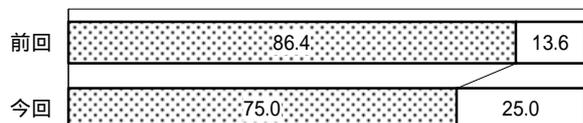


- ・ 全体では、「黒字」とする企業が10.7%で前回調査と比べて1.6ポイント増加しているものの、「赤字」とする企業が46.7%を占めており、依然として「赤字」が「黒字」を大きく上回っており、かなり厳しい採算状況となっている。
- ・ 業種別に見ると、前回調査と比べて、鉄鋼・非鉄、金属製品、一般機器、電気機器で「黒字」とする企業が増加しているが、全業種で「赤字」とする企業が「黒字」とする企業を上回っている。中でも縫製では6割近くが「赤字」としており、厳しい状況が続くものと思われる。

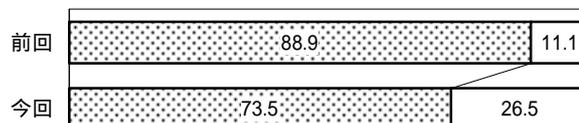
(6) 受注余力について



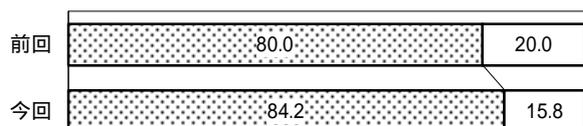
鉄鋼・非鉄



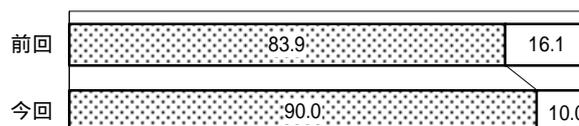
金属製品



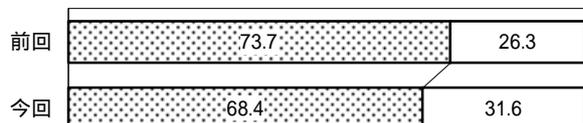
一般機器



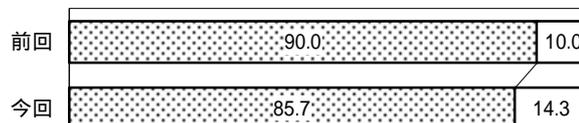
電気機器



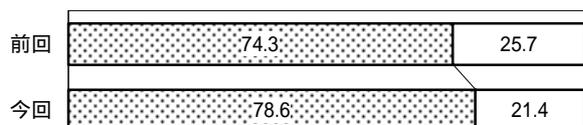
輸送用機器



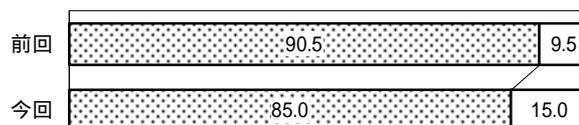
精密機器



縫製



樹脂製品



・全体では、余力「あり」とする企業が前回調査と比べて2.7ポイント減少しているものの、80.4%の企業で受注余力があり、受注確保の難しさがうかがえる。

・業種別に見ると、前回調査と比べて一般機器、電気機器、縫製で、余力「あり」とする企業が増加しており、電気機器では、余力「あり」とする企業が9割に達している。余力「なし」とする企業が増加している業種もあり、ばらつきが見られる。

財団法人 京都産業 21

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町 134 ( 京都府産業プラザ内 )

TEL ( 075 ) 315 - 9234 FAX ( 075 ) 314 - 4270

E mail : kikaku@ki21.jp

URL : <http://www.ki21.jp>